

## テクニカルツアー (豊平川の治水・利水を知る)@豊平峡ダム

### 1. はじめに

青年技術士交流委員会では、平成 29 年 6 月 30 日(金)に、豊平峡ダムを見学するテクニカルツアーを開催しました。近年、豪雨による氾濫被害の増加や原子力発電に対する規制の強化により、ダムおよび水力発電の重要性が再認識されています。このような状況において札幌市民の生活を支える豊平川の治水、利水について知ることを目的として、豊平峡ダムを見学し、その概要や機能等について学びました。

このテクニカルツアーの概要などについて、以下に報告いたします。

### 2. テクニカルツアーの行程

日時：平成 29 年 6 月 30 日(金)

参加人数：幹事 18 名

内容：豊平峡ダムの見学

- ・ 12:00～12:40 バス移動兼座学  
「豊平川の成り立ちとダム整備効果」
- ・ 12:40～13:00 電気バス移動
- ・ 13:00～15:00 ダム見学
- ・ 15:20～15:50 電気バス&バス移動

### 3. 豊平峡ダム見学

豊平峡ダムは豊平川上流部に位置する総貯水容量 47.1 百万 m<sup>3</sup>、堤高 102.5m、堤頂長 305.0m のアーチ式コンクリートダムで 1972 年に完成しました。洪水調節、上水道、発電を目的とした多目的ダムであり、北海道開発局により管理されています。毎年 6～10 月には観光放流を行っており、迫力ある放流風景を楽しむことができます。

豊平峡ダムへの移動は、当ダムが支笏洞爺国立公

園内にあることから、環境保護への取り組みの一環として電気バスが用いられています。バスで 10 分ほど走り、細いトンネルを抜けると目前にダム湖である定山湖が広がります。

電気バスを降りた後は、豊平峡ダム管理支所 東海支所長より当ダムについて説明を受け、その後 2 班に分かれダムの見学を行いました。

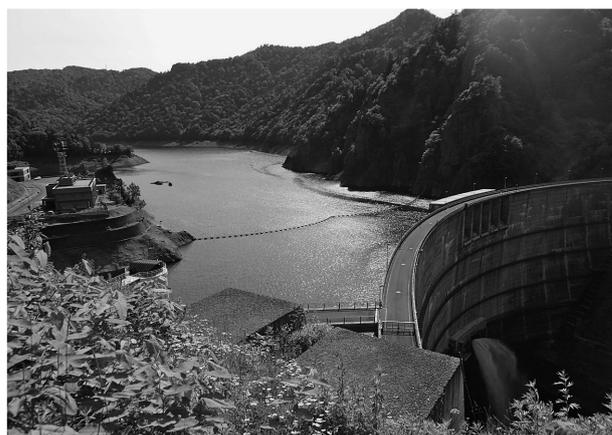


写真 1 豊平峡ダムと定山湖(右岸展望台より)

#### 1) クレストゲート室

クレストゲートは異常洪水時に使用される非常用のゲートで、非常時にゲートを開閉するための機器がゲート室に収められています。

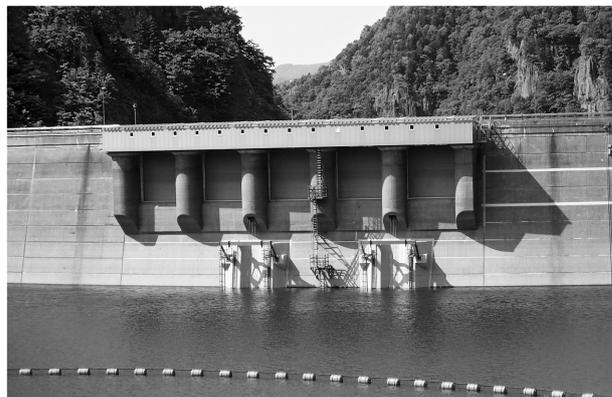


写真 2 クレストゲート(非常用洪水吐)

## 2) 斜路エレベータ、バルブ室

斜路エレベータで堤体下部へ降り、バルブ室へ向かいました。バルブ室には常用洪水吐用と観光放流用の2種4基のバルブが有ります。人の背丈程度もある常用洪水吐用バルブの大きさと観光放流の迫力に驚かされました。



写真3 観光放流バルブと放流状況

## 3) 連絡通路トンネル

ダム袖部から管理事務所までは地下の連絡通路により結ばれています。中はひんやりしており外界の暑さを忘れず。連絡通路内部には光通信ケーブル、高電圧線などダム機能の維持と管理に関わるケーブル類が敷設されています。

## 4) 操作室

操作室は管理事務所内のダム及びダム湖が見渡せる位置にあり、ダムの管理を行うための機器が並んでいます。洪水時だけでなく、平時においても貯水水位の管理や取水量の監視が行われており、我々の日常生活を維持するための苦勞がうかがえます。

## 5) 豊平峡ダム資料室

最後に資料室を見学しました。豊平峡ダムや豊平川、札幌の歴史に関わる解説がパネル展示されており、ダムの役割について理解を深めることができます。その他にも昆虫標本の展示や、ダム湖を見渡せる展望が楽しめます。見学後に今話題のダムカードを貰って終了です。

## 4. ダム施設の有効活用

豊平峡ダムはこれまで、治水・利水以外にも観光資源として利用されています。近年では星空ツアー

の実施や、使用されなくなった左岸リムトンネルを利用したワイン等の貯蔵、それらを組み合わせたイベントの実施など、官民一体となったダム施設の有効利用が進められています。



写真4 ダムカード(豊平峡ダム)



写真5 左岸リムトンネル(内部にワイン貯蔵庫がある)

## 5. まとめ

近年増加する豪雨による氾濫被害の軽減や安定した水道水の供給、高まる電力需要への対応など、札幌市民としての当たり前の日常生活の多くが、このダム、そしてそれを支える技術者の努力により守られていることを実感しました。それとともに、社会インフラの整備に携わる技術者として社会への貢献の精神を忘れてはならないことを再認識しました。

最後に、今回の企画に快くご賛同いただき、見学内容やルートの調整、当日の案内・説明等に多大なご協力を賜りました北海道開発局札幌開発建設部豊平川ダム統合管理事務所、ならびに関係各位に厚く御礼申し上げます。